

校長室より

令和 4年11月14日
校長 植野 博之



立冬の候、肌寒さも感じる季節となりました。11月5日（日）に、みはま支援学校で第44回文化祭が行われました。今年のテーマは「Believe 仲間を信じて一致団結しよう」でした。仲間づくりを大切にしている生徒達が考えた素敵なテーマです。

文化祭の中味は、体育館でのステージ発表、みはまマルシェ（製品販売）、学年催し等でした。保護者や学校運営協議会委員、卒業生等も観覧してもらい、大変盛り上がった文化祭となりました。

文化祭の様子

一学部（和歌山病院入院生）

「ぼくらのいいとこみてください2022」

体育館では、一学部（和歌山病院入院生）のビデオ発表では、「ぼくらのいいとこみてください2022」という題目で、大漁祭りで、南中ソーラン等も披露してくれました。残念ながら今年はコロナ対策で和歌山病院とのリアルタイムなオンライン文化祭はできませんでしたが、一学部の児童生徒の日頃の笑顔や五感を使った素敵な取組、頑張りをビデオで発表してくれました。病棟毎に感動的な愛情こもったビデオで編集され、とても素敵な内容でした。



二学部 中学部（通学生）

中学部の生徒は日頃の学園生活をビデオで発表し、校外学習等学校生活を楽しんでいる様子が伺えました。また缶バッチ等の販売活動では、大きな声で元気にお客とやりとりし、たくさんの製品を売っていました。



二学部 高等部（通学生）

体育で3グループに分かれ、それぞれ工夫を凝らしたダイナミックな、またリズムカルな楽しいダンスを披露してくれました。自分たちで曲目から振り付けまで話し合い、練習してきました。対話を通して自分たちで作上げたダンスは格別で、一生の思い出ですね。参観者からは、とてもエネルギーと元気をもらい、明日からの仕事もがんばれそうですと好評でした。



高等部の音楽選択生

合奏と合唱を発表しました。
明るく元気で力強い楽器演奏と美しいメロディーによる合唱に聴き入りました。
かなりの時間と練習を費やして、みんなで作り上げた素敵な音楽でした。



二学部総合の軽音楽講座

高低音を使い分けた素晴らしい歌唱とパワフルなドラム、キーボードやエレキギターに観客の手拍子も加わり、アンコールがおこる位、会場全体が盛り上がりました。



みはまマルシェ

工芸班、手芸班、木工班等の工夫された製品が並び、売り切れも出るほど商品が販売されました。またオフィスみはまが作成した生徒制作ビデオは、年々ビデオ編集等の技術も高度になり、出来映えがすばらしかったです。



学年企画

また今年は新しく学年企画ということで、各学年がそれぞれ催しを考え、魚釣り 輪投げ スーパーボールすくいやジュース販売等でも賑わいを見せてくれ、コロナ禍の中でも感染対策に気をつけながらもとても盛り上がり、今年のテーマ通りの一致団結した仲間づくりがより一層深まった文化祭でした。

1年 魚釣り



2年 輪投げ



3年 スーパーボールすくい



みはま支援学校 太陽作業所 くろしお保育所合同地震津波避難訓練

11月8日(火)今回初めて、近隣のくろしお保育所と太陽作業所と地震津波避難訓練を合同で行いました。3施設での初めての合同訓練で、和歌山病院屋上へ安全に気をつけながら、落ち着いて避難しました。日高広域消防署の職員3名も来ていただき、講評をいただきました。



来たるべき南海トラフ大地震へ備え、近隣地域と何が出来るか、何が課題となるか今後も検討していきたいと考えています。

